

# 新潟から訴訟 派代表ら帰る

## 水俣病

九月二十九日新潟地裁での新潟水俣病裁判の判決言い渡しに出席していた熊本・水俣病患者代表らが、一日水俣市に帰ってきた。

一行は渡辺榮蔵訴訟派代表ら五人で、そのうちの一人、水俣市月浦、田中義光さん(六〇)は「新潟の場合、熊本の患者よりも症状が軽い人たちが多い。配偶者の百五十万円といっても、患者そのものも働いている人がいるし、経済的にも熊本より恵まれているようだ。

だから新潟の例が直ちに熊本には当てはまらないと思う。熊本地裁の裁判官にぜひ新潟を見せたがい。新潟の人たちはあれで十分満足していました」と語った。